

事案名	久留米市の事案（福岡県40-2）
分類	生産・保有 廃棄・遺棄 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成15年8月29日〔1〕 ・環境省事務所への連絡〔2〕 ・『久留米市史』第11巻・資料編現代）〔3〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」〔4〕 ・証言〔5〕
資料内容概要	<p>福岡県久留米市には、軍都として多くの旧軍施設があり、一部施設においては、毒ガスの保有や実習、訓練等の証言が寄せられた。また、旧軍関係者の証言として、保有されていた旧軍毒ガス弾等を川に遺棄したとの情報がある。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・匿名の証言として、「昭和20年に福岡県久留米市の旧日本軍の施設に毒ガス倉庫があった」と記載されている〔1〕〔2〕。同所には当時西部第50部隊、西部第51部隊、西部第54部隊、第2陸軍予備士官学校、久留米練兵場があったと記載されている〔3〕。 ・旧軍関係者（元第12師団陸軍2等兵）の証言として、「昭和20年に福岡県久留米市にあった練兵場のガス室で毒ガスによる実習を受けた」と記載されている〔1〕。同所には当時久留米練兵場があったと記載されている〔3〕。 ・旧軍関係者（元第一陸軍予備士官学校特別甲種幹部候補生）の証言として、「昭和20年に福岡県久留米市の第1陸軍予備士官学校のガス室でガスポンペを使用し、毒ガス（イペリット）の訓練を2回を受けた」と記載されている〔1〕。 <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧軍関係者（元第1陸軍予備士官学校特別甲種幹部候補生）の証言として、「昭和20年の8月22日頃、福岡県久留米市の第1陸軍予備士官学校から3台のトラックに分乗しポンペを投棄しに行った。トラックにはすでにポンペが積み込まれており、訓練で使ったものと同じだった。イペリットなど3～4種類で長さ1.5m、直径30cm、消火器みたいな小型のものもあり、数100本（300本以上）あったと思う。投棄場所は、大きな川の河口で筑後川と思われた。投棄作業は予備士官学校の将校(中隊長)と生徒60～70人で行った。作業員は4班に編成され川の中にポンペを捨てた。投棄

場所は、河口より少し上で左側に有明海が見えた。対岸は佐賀県と聞いた〔 5 〕。

現在の状況

- ・福岡県久留米市の毒ガス倉庫があったとされる旧軍施設跡は、現在、学校施設、保育所、一般住宅等となっている〔 1 〕〔 2 〕〔 3 〕〔 4 〕。
- ・福岡県久留米市のガス室で証言者が実習を受けたとされる練兵場跡地は、現在、住宅となっており、また、同じく第 1 陸軍予備士官学校跡は、現在、陸上自衛隊幹部候補生学校となっている〔 1 〕〔 3 〕〔 4 〕。
- ・筑後川河口付近は、古くからの干拓地で、戦後新たに広がった干拓地もある〔 4 〕。